

## 保健管理センター杉谷支所 副所長に就任して



富山大学保健管理センター杉谷支所

岩 田 実

初めまして、昨年6月より、富山大学保健管理センター杉谷支所に勤務している岩田と申します。出身は、富山県富山市で、富山大学医学部（旧富山医科薬科大学医学部）を今から約20年前に卒業しました。私の姉も富山大学の人文学部（五福キャンパス）を卒業しており、姉が在学中であった自分が幼少期の頃に、五福キャンパスに何度か遊びに来たことがあります。当時に比べると五福キャンパスの雰囲気も随分と様変わりし、都会的な、そして楽しい雰囲気になったと感じています。又、保健管理センターに異動する迄は、附属病院の第一内科（糖尿病・内分泌（ホルモンの病気）の診療を兼務しながら、地域医療支援学講座に四年間勤務しておりました。最近、地域の医師不足・医療過疎といった事が社会的問題になっておりますが、地域医療支援学講座は、読んで字のごとくで、富山県、その近辺の医師不足に悩む地域の医療を支援しようといった事が目的で設立された講座です。私も、その講座の目的遂行の為、医師不足に悩む、富山県と新潟県の県境にある病院や、富山県と岐阜県の県境にある病院に週一回ずつ診療に行き、医療支援を行って来ました。又、このような地域の病院に、地域医療を実習に来ている富山大学医学生に対して指導なども行って参りました。

昨年6月からは、仕事内容が、地域医療支援という業務から、富山大学杉谷キャンパスに在籍する学生、教職員の健康管理が主な業務となり、異動当初は、右も左も判らない状況でしたが、最近は、少しずつ業務内容に慣れてきました。

まだ、業務内容について良く理解が出来ていない事が多くあり、スタッフの方達に教えて頂く事ばかりで、ご迷惑をお掛けしますが、これからも宜しくお願い致します。

又、保健管理センターに異動後も、富山大学附属病院第一内科の診療は、引き続き行っており、専門である糖尿病・内分泌（ホルモンの病気）の患者様の診察を行っています。

以前は、糖尿病は、主に中年太りの影響で、中高年以降に発症する病気といったイメージでした。しかし、最近では、幼少期から肥満になる子供が増えてきており、それに加えて、大学入学後の一人暮らしによる生活習慣の乱れなどにより、大学生で糖尿病を発症する場合も良く見かけております。

1人暮らしを始めると、偏食や、食事時間が不規則になったりしますが、バランスの良い食事、そして規則正しい生活を行い、適度な運動もしましょう。そのような心がけが糖尿病発症予防に繋がると思います。